

科目名	幼児と環境（卒業必修：保育士必修：幼稚園教諭二種必修）				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2023年度 前期	単位数	1		
担当教員	堀 建治				
内容および計画	この授業では幼児教育の基礎となる子どもを巡る「環境」について、幼稚園教育要領他を基盤として必要な知識や経験を学ぶ。自然環境への興味関心を高め、身近な事象から物の性質、数量、文字に対する感覚を養う。身近な環境（物、人、自然、社会、安全）と遊びとのかかわりについて、「遊び」を通じて体験するとともに、幼児の発達を想定して行い実践的に学ぶ。				
1	ガイダンス・子どもにとっての「環境」の意義				
2	保育内容「領域環境」と幼児理解（幼児期の思考・発達）				
3	環境構成（園内環境、遊具・素材の環境デザインの基本と配慮事項）				
4	保育内容「環境」からみる小学校教育との接続				
5	園外保育・散策活動の実際と環境				
6	自然、生命との関わり（自然から学ぶ乳幼児の興味、関心、理解）と遊び				
7	保育に活かせるあそび1（「しくみ」を考える）				
8	保育に活かせるあそび2（身近な素材を用いて）				
9	あそびにおける人的環境1（友達—子ども間での交流、成長について—）発表				
10	あそびにおける人的環境2（保育者の役割）発表				
11	地域、行事、伝統との関わり 発表				
12	物的環境との関わり（物、数、文字との出会い） 発表				
13	環境構成（園内環境、遊具・素材の環境デザインの基本と配慮事項） 発表				
14	乳幼児期の安全環境と安全教育				
15	まとめ（進度確認）				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	新・保育内容「環境」	永淵 泰一郎	教育情報出版	9784909378538	2023
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・『幼稚園教育要領＜平成29年公示＞』文部科学省 ・『保育所保育指針＜平成29年公示＞』厚生労働省 ・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領＜平成29年公示＞』内閣府 厚生労働省 文部科学省 ・その他適宜紹介する 				
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	プレゼンテーション				20
	各種課題に対する取り組み状況				30
	進度確認小テスト				50
学習到達目標	テーマ：幼児を取り巻く環境や、環境との関わりについて、幼児が抱く好奇心、探求心を知り、完成を養				

	<p>い、知識、技能を身に付ける。</p> <p>到達目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 領域「環境」について「ねらい」や「内容」等を包括的に判断できる。 2. 子どもの発達の姿や子どもの遊びを通じて、領域「環境」における保育教材の活用や環境構成のあり方が工夫・創造できる。 3. 子どもの探求心・好奇心・思考の芽生えを育む指導を行うことができる。
先修条件	
実務経験	
その他	